

よみましょ・よみましょ

### 本年度の当初予算決まる

#### 総額七億二千九百万円

#### 野鳥議員の追悼議会に

ことしの年間予算を審議するための臨時市議会は、五月十四日に開会され、二十日までの七日間の会期（十四日執行部の提案理由の説明、十五日休会、十六日質疑、十八・十九日休会）で常任委員会△二十日委員報告、討論、採決で開かれました。

### 5月臨時市議会

はやくからことは赤字解消の最終の年として市民から期待されています。ところが金堂市長就任とともに一億程度の潜在赤字のあることが明らかにされました。そのため財政の見通しがつかないまま、さきの三月議会には四月、五月の暫定予算を計上していたために年間予算の編成がいそがれ、こんどの臨時議会の招集となったものです。

この臨時議会に執行部から提案された議案は、

- ▽更生資金貸付基金条例  
これまであった更生資金の貸付け制度を基金制度に改めたもので、同対策とスラム対策の一環として、生活困窮者の自立更生への資金（生業支度、技能修得費）を低利かつ長期にわた
- ▽市立天徳女学院入学手数料及び授業料徴収条例の一部改正条例  
授業料を改正するもので、高等部の月額「五百五十円」を八「百円」に、大学部、専攻部の和裁と実業部の「六百円」を「九百円」に、洋裁の「八百円」を
- ▽市立幼稚園設置及び管理条例の一部改正条例  
幼稚園（瓶岩、白木谷）の授業料を市内居住者「三百円」のもの「四百円」に、市外居住者「四百円」のものを「七百円」に増額しようというものです。
- ▽市立大徳女学院入学手数料及び授業料徴収条例の一部改正条例  
授業料を改正するもので、高等部の月額「五百五十円」を八「百円」に、大学部、専攻部の和裁と実業部の「六百円」を「九百円」に、洋裁の「八百円」を

### 待望の市民体育館

#### 年度末には実現

#### 頭の痛い生活保護費

本年度で完了されると思われる赤字償還は、あと二年延長されて四十三年度に終るよう計画が変更されました。

このように窮迫した財政のなかで、市の産業の振興と市民の福祉向上のための施策は、やはりかかすことはできないものです。金堂市長のはじめた予算編成であって、実質これからの金堂市政への第一歩であるといえます。

とここでことし実施されます新規事業は、市民待望の市民体育館と北陵中学校が建設されますが、

計画を変更しようというものは、四十一年度一般会計予算諸物価の値上がり、人件費の高騰とともに緊縮財政のもとで許される範囲での事業遂行の経費や、赤字償還金など、予算総額で七億二千九百六十七万五千円となっています。

などの八議案でいずれも原案どおり可決されました。また、前回から継続審議となっ

ていました。市長は、二特選の議員などの旅費を改正する多額の議案は、総務常任委員会の修正案が可決されました。

なおこの会期中の十六日に野鳥清洋議員が急逝しましたが、同議員の死をいたみ、会期中故人を出席議員として取り扱い、追悼議会として同氏のめい福を祈りました。

本年度の一般会計予算は、昨年度当初予算よりも一億六千四百二十九万四千円増えています。

歳出面では農林水産費が百四十一万四千円減り、その他は少しずつ増額されています。とくに多くなつたのは市民体育館建設費を計上している教育費で八千九百八十四万円、年々増加している生活保護費（三千九百四十八万四千円）の計上されている民生費が六千七百六十八万四千円増えました。また膨張している人件費は、特別職、議員、農業、教育、選管、監査各委員と一般職員の給与総額が二億九千九百七十三万四千円、昨年より三千六百六十八万四千円増えました。このため人件費は市税収入一億八千五百五十六万四千円より上廻っています。

（3面につづく）

### 献血でつくろう明るい社会

#### 市民の血液は市民の献血で

尊い人間のいのちは、血液にあるといえます。交通事故などによる大けがや大手術のとき、絶対に輸血が必要であることは皆さんのよく知っておられることです。最近外科医学の急速な進歩と交通事故などが増加しているため、輸血に血液も年々ふえています。

ところが現在、輸血に使われている血液の大部分は売血によってまかなわれているため、血がうすかったり、血清肝炎の発病する危険性もあると言われている。いろいろの問題をおこしています。

#### 献血に

#### ご協力を

そのため健康な多くの人々から良い血液を提供していただくことが必要になりました。血液は人間の生きた体の一部でありこれを「売って買って」することは人道的にみて正しいことではありません。そこでお互いに助け合う心から健康な時に自分の血液をただで輸血を必要とする不特定の人に提供

#### 献血の申し込みは

官公庁、事業所、団体、学校、町内会などにおいて、献血希望者をとりとまとめ、もよりの保健所または血液センター（高知市新本町二丁目四一、電話（高知）二二〇一）へご連絡ください。

- ◎ 採血の前に医師がよく診察をして、次のような方からは採血しません。
- ▽ 血液の比重が一・〇五二以下の
- ▽ 一カ月以内に輸血の目的で、採血した人
- ▽ 満十六歳に達しない人、六十五歳以上の
- ▽ 妊娠している人、または六カ月以内に妊娠していた人
- ▽ 体重が四十キ以下の女子
- ▽ 四十五キ以下の男子
- ▽ 最高血圧が一〇〇キ以下の
- ▽ 熱のある人、その他健康に異常のある人
- ◎ 採血二〇〇ccで、からだかものようになるのはどれくらいかかるか。
- 健康体の人ならその日から普通に働けますが、学的的にみると完全回復には一カ月かかります。ただし食事の関係で多少の長短があり、一般には鉄分の多い食事がよいとされています。
- ◎ 毎月一回採血してもよいか。
- 二〇〇ccなら毎月一回でもさしつかえありません。これが長く続くと、やはり多少の無理があります。無難なところ

### 血液メモ

- ◎ 一年に二回、つまり二カ月に一回というところで、年三回が理想的な採血です。
- ◎ 血圧の高い人の血液は一向にさしつかえありません
- ◎ 輸血される時、血液中の細菌などを心配しなくてもよいか。
- 心配はいりません。保存血液は厳密な事前の診察をした上に採血されたものです。
- また採血したものについても必要な検査を行なうて、不安のないものだけを使用しています。
- ◎ 採血した日は安静にしていなければならぬか。酒、入浴は……。
- 安静にしているにこしたことはないが、二〇〇ccくらいの採血なら特に神経質になる必要はありません。酒は普通量なら飲んでよく、入浴もかまいません。
- ◎ 血液をのんで効果があるか。
- 効果はありません。むしろ胃を悪くしたりゲリをすることがあります。

#### 火の用心

ひのもとに注意

（2面よりつづき）

入ってくるお金（歳入）

市税一億八千五百五十六万円、▽臨時地方特別交付金五百七十二万円、▽地方交付税一億七千二百三十八万円、▽分担金及び負担金千七百六十万円、▽使用料及び手数料四百四十万円、▽国庫支出金二億三千五百五十七万円、▽県支出金二千九百九十一万円、▽財産収入十四万円、▽寄付金百四十万円、▽繰入金三百五十万円、▽諸収入千七百四十万円、▽市債八千六百六十万円

使われるお金（歳出）

議会費千四百七十万円、▽総務費八千五百九十七万円、▽民生費二億九千九百七十四万円、▽衛生費二千四百四十一万円、▽労働費四千九百八十一万円、▽農林水産費三千六百二十万円、▽商工費三百三十六万円、▽土木費二千四百七十九万円、▽消防費千三百八十一万円、▽教育費一億四千七百九十九万円、▽公債費二千六百八十八万円、▽前年度繰上げ費用五百六十万円、▽予備費六十万円